

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	デザイン2	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科		コース名	アニメーションコース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	45時間
単位数	3単位		授業形態	講義・演習			
教科書/教材	資料を配布し参考書・参考資料等は、授業中に指示する						
担当教員情報							
担当教員	森田 宏幸			実務経験の有無・職種	有・アニメーター、演出、監督		
学習目的							
制作実習を通して主に演出的観点から日本の商業アニメーションの制作工程を具体的かつ本質的に理解すること。アニメーションの制作が協働の場であることを理解し、これまで体験してきた競争の場とは異なる考え方や能力が求められることを意識できるようになり理解できるようになるのがねらいである。							
到達目標							
制作実習を通して主に演出的観点からアニメーション制作の工程の中で各自の仕事の役割と意義を理解し必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	主に修了制作を通して演出的観点から実際のフィルムにするまでの工程を総合的に学び個人でアニメーションの制作が完結できる基礎技能を身に着けるように各工程ごとに教員がチェックしながら授業を進めていくようにする。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	課題を総合的に評価する				
	小テスト						
	レポート						
	成果発表 （口頭・実技）	0%	作品完成の際には試写を実施する。その際の発表方法と内容について評価する				
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	導入			終了制作を進めるにあたっての注意点と授業の進め方について、主に演出面の絵コンテチェック			
2回	終了制作(1)			作画打ち合わせの実習を通してコミュニケーションと計画性の重要性を理解する			
3回	終了制作(2)			レイアウト制作を通して演出意図と構図をつかみ空間把握と演技プランの設計の重要性を理解する			
4回	終了制作(3)			レイアウト制作を通してタイムシートの記入方法について学ぶ			
5回	終了制作(4)			レイアウト制作、演出チェック			
6回	中間講評会 第一回			中間講評会をして進捗と課題点と制作スケジュールの確認をする			
7回	終了制作(6)			原画制作を通して運動と演技、質感の表現等を理解し実践できるようになる			
8回	終了制作(7)			原画制作を通して運動と軌道、タイミング、空間パースについて学ぶ			
9回	終了制作(8)			原画制作を通してキャラクターの感情表現の方法を学ぶ			
10回	中間講評会 第二回			中間講評会をして進捗と課題点と制作スケジュールの確認をする			
11回	終了制作(9)			動画制作を通しクリンナップができるようになる			
12回	終了制作(10)			動画制作を通し原画に即した中割りができるようになる			
13回	終了制作(11)			動画チェックを通し自分のカットの見直しをしミスや記入漏れがないか確認できるようになる			
14回	終了制作(12)			ラッシュチェックをしてリテイクだしをする			
15回	まとめ			全体のまとめ、納品			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	デザイン2	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	キャラクターデザインコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	3単位	授業形態	講義		
教科書/教材	USBメモリ				
担当教員情報					
担当教員	武藤 敬子		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
Adobe IllustratorによるDTP技術を習得し、印刷の基礎を学び、印刷会社に入稿ができるデータ作りの制作方法を学び、また、コンテンツデザインを含むグラフィックデザインの思考法を養うことがねらいである。。また、就職活動を踏まえたポートフォリオ制作を行い、自分の作品をまとめることで、自己分析を行い、自分の適性に合った業界を探ることもねらいである。					
到達目標					
SPをふまえたグラフィックデザイン、DTPの基礎、レイアウト、印刷などについて学びながら、名刺制作、ポートフォリオ制作を行い、最終的には自分で印刷入稿ができるようレベルに達すること、また、自分の適性を吟味し、目指すべき業界の方向性を探ることを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	Adobe Illustratorの展開授業として、DTP基礎を習得し、作品を制作完成することを目指す。				
注意点	課題提出締め切り日は守る事。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。作品のデータ管理は徹底すること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる課題内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	DTP基礎		DTPにおけるフォントの大切さを理解する。課題：地図のパーツ作り		
2回	DTP基礎		地図作成（いろいろな地図のパーツを作ってみる）ができるようになる		
3回	名刺制作		自分の名刺を企画し、制作する ラフ		
4回	名刺制作		自分の名刺を企画し、制作する トンボについて理解する		
5回	名刺制作		トンボの断裁をする。 名刺提出 プレゼンテーション 講評		
6回	写真加工について		写真のレタッチ基礎を学ぶ。加工、修正		
7回	コラージュポスター制作		キャッチコピーを考えて、オリジナル写真を加工し、コラージュポスターを制作する		
8回	コラージュポスター制作		キャッチコピーを考えて、オリジナル写真を加工し、コラージュポスターを制作する		
9回	ポートフォリオ制作		プレゼンテーション 講評		
10回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオについて学ぶ。台割、フォーマットをデザインする。		
11回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオ制作		
12回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオ制作		
13回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオ制作		
14回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオ制作		
15回	ポートフォリオ制作		ポートフォリオ提出 講評		

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	デザイン2	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科		コース名	マンガコース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	45時間
単位数	3単位		授業形態	講義			
教科書/教材	参考書・参考資料等は授業中に指示する						
担当教員情報							
担当教員	大石 准也			実務経験の有無・職種		有・漫画アシスタント、編集	
学習目的							
マンガ作品の重要な魅力となるビジュアル要素を研究考察し、構図やカメラワーク、キャラクター作りにおける発想力や表現力の基礎を培うことが目的である。マンガ全般の基礎知識からマンガ演出におけるストーリーテリングから、キャラクターの状況や感情の表現に関係する画面構成、ビジュアル諸設定なども理解し、今後の作品づくりに実践してゆく。							
到達目標							
先ずマンガ制作関連の専門用語が理解でき、作品コンセプトを立案できること。マンガ制作の諸設定の考え方、進め方を理解する。オリジナルストーリーにおけるビジュアルイメージをもとに、マンガ作品に反映して執筆活動ができること。							
教育方法等							
授業概要	マンガの基礎知識・学習は作画、ストーリーテリング両面からのアプローチを含めた実演形式で解説する。また、キャラクターの感情表現まどの演習課題によって習得度を向上させながらオリジナル作品へ応用する。						
注意点	授業中は私語を慎み、受講態度に注意する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。自分でも各回の講義内容に即した関連情報や参考資料を収集し、自らの成長に役立てることを考えること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法		割合	備 考				
	試験・課題	50%	定期課題の提出率、完成度で評価				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	50%	遅刻、欠席、早退により減点				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	画面構成(1)			カメラワークを意識した構図・視線誘導の技術を習得する。「起」について			
2回	画面構成(2)			カメラワークを意識した構図・視線誘導の技術を習得する。「承」について			
3回	画面構成(3)			カメラワークを意識した構図・視線誘導の技術を習得する。「転」について			
4回	画面構成(4)			カメラワークを意識した構図・視線誘導の技術を習得する。「結」について			
5回	演出技法(1)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「怒」について			
6回	演出技法(2)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「喜」について			
7回	演出技法(3)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「悲憂」について			
8回	演出技法(4)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「思」について			
9回	演出技法(5)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「恐」について			
10回	演出技法(6)			キャラクターの心象を表す構図・演出の技術を習得する。「驚」について			
11回	修了制作(1)			作画・構図・演出の技術を活かした短編作品を完成させる。1			
12回	修了制作(2)			作画・構図・演出の技術を活かした短編作品を完成させる。2			
13回	修了制作(3)			作画・構図・演出の技術を活かした短編作品を完成させる。3			
14回	修了制作(4)			作画・構図・演出の技術を活かした短編作品を完成させる。4			
15回	修了制作(5)			作画・構図・演出の技術を活かした短編作品を完成させる。5			